

西山形小学校旧校舎跡地利活用に係るサウンディング型市場調査
【山ハブにおける提案概要】

1 提案タイトル

グラウンド・ゴルフ場を核としたスポーツ施設の整備による地域振興
「軽スポーツによる健康アミューズメントパーク構想」

2 事業の目的・事業実施の理由

- (1) グラウンド・ゴルフによる市民の健康増進
 - ・高齢化が進む中、グラウンド・ゴルフ人口は増加傾向であり、市民の健康寿命延伸のために大変有効である。
- (2) 良好な立地条件
 - ・ホテルが飛び交う当該地は、ビオトープや自然観察園等の機能を備える「キラキラランド」や近接する八幡神社エリアと併せ、抜群のロケーション。
 - ・山形PAスマートICの開通（令和6年3月）や国道112号山形南道路（山形市西崎から蔵王までを結ぶ道路）の整備促進により、周辺の交通の利便性は向上。
 - ・周辺には、テニスコートやソフトボール球場等もあり、グラウンド・ゴルフ場の整備により、スポーツを行う環境としての魅力がさらに向上。
- (3) 地域活性化、関係・交流人口の拡大
 - ・グラウンド・ゴルフ場に加え、アーバンスポーツ、ニュースポーツ、グランピング施設など、高齢者だけでなく子どもや若者が集まる環境を整備することで、世代間交流が活発になり、地域活性化につながる。
 - ・市内外から利用者が集まることで、地域活性化や市の発展にもつながる。
 - ・長年(128年間)、教育施設(小中高)の存在した当該地は、メモリアルスペースとして、市内外からの関係者の継続的な利活用が可能。

3 事業内容

- (1) グラウンド・ゴルフ場
 - ・全面、野芝(公認コース、8ホール×3コース)
 - ・全面、アンジュレーション(起伏)によるコースの差別化
 - ・要所に避暑スペース(植栽や四阿など)整備
 - ・クラブハウス(トイレ、更衣室、受付、休憩、水分補給、倉庫)整備
 - ・グラウンド・ゴルフ場を無料でプレー(山形市内で飲食又は宿泊した方への特典)

(2) アーバンスポーツ、ニュースポーツなど

ボルダリング、スケートボード、フリスビーゴルフ、ターゲットゴルフ、ペタンク、モルックなど

(3) 健康増進のためのウォーキングコースの設定

- ・グラウンド・ゴルフ場や各サイトを結ぶウォーキングコースを設定し、健康増進に向けた有酸素運動を促進。
 - ・平場を利用した初級者コースと力坂及び裏山を活用した上級者コース、個々の体力に応じた設定が可能。
 - ・通年で利用を図るため、降雪期は、スノーシューを着用したウォーキングが可能。
- ※コンフォートグラウンド・ゴルフ場をはじめ、既存のグラウンド・ゴルフコースは冬季間の活用が課題。

(4) グランピング施設

- ・裏山(大字柏倉所有地、グラウンド及び森林スペース)を活用。
 - ・市内を一望できる抜群のロケーションを活かし、グランピングサイトの開設も可能。
- ※裏山(グラウンドを含む)の利活用は、大字柏倉の所有地のため、同意が必要(提案時点では未調整)。

(5) 利便施設、売店、飲食コーナーなど

- ・プレハブハウスの設置(サテライトスペースとしての売店・飲食ブース)。
 - ・西南部地域の新鮮で良質な農産品を提供する産地直売所を併設。
 - ・蕎麦ラーメン等飲食サテライトブース設置(西部地域や市内有名店の味を週・月替りで堪能)。
- ※サテライトスペースは、登録制とし、大規模大会開催の際は、事前の店舗選択・指定も可。

4 事業の効果

- ・グラウンド・ゴルフ場などを整備することで、市民の健康保持増進につながる。
- ・市内での農産品の購入、また、飲食や宿泊を促すことで、農家及び市内事業者の収入増となり、税収増につながる。